

## 平成 26 年度国際理解講演会

8月20日（水）～22日（金）に、伊勢原市民文化会館で学年ごとに国際理解講演会を開催しました。

8月20日（水） 第3学年

玉川大学の大島英一教授をお迎えして、「目指せ、国際人―国際協力の現場から―」という演題でお話をいただきました。外務省勤務の経験に基づき、主にキリバス、ナウル、ツバル、バヌアツ、フィジーの状況とそこでご自身が行ってきた国際協力についてお話しいただきました。また、海外の要人と良好な関係を築くやり方はたいへん興味深い話でした。講演の最後には、青年海外協力隊の活動などを交えながら、高校生に望みたいこととお話していただきました。生徒は、しっかりと話を聞き、国際理解や国際協力の大切さについて理解を深めました。



講演の様子



真剣に話を聞く生徒のたち

8月21日（木） 第2学年

アムネスティ・インターナショナル日本から、佐藤士文氏をお迎えして、「国際NGOが語る ～今、世界で起こっていること～」という演題でお話をいただきました。多くの生徒の印象に残ったのは子ども兵士の存在だそうです。このような人権問題に対してどのような取り組みが行われているかをお話いただきました。その中で、生徒は世界や日本で起きている人権の問題について理解を深めることができました。途中、ワークショップ形式で生徒同士が話し合う場面があったり、講師と生徒間のやり取りがあったりして、和やかな講演会でした。



講演の様子



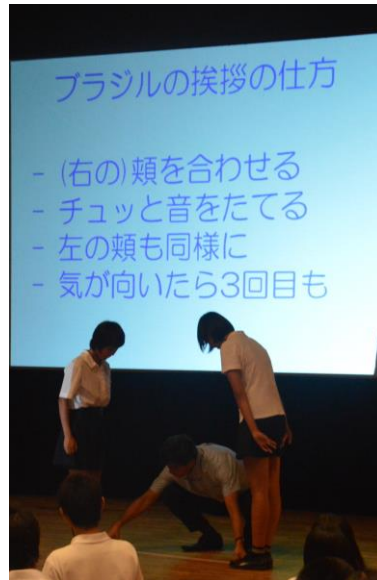
講演会後に生徒と

8月22日（金） 第1学年

東海大学の小貫大輔教授をお迎えして、「国際協力の醍醐味—地域に根ざした活動から世界を動かす運動・思想に触れること—」という演題でお話をいただきました。ご自身が行っていたブラジルでのエイズに関する国際協力の経験から、一つひとつの小さな活動が世界を動かす大きなうねりになることの素晴らしさについてお話をいただきました。途中、様々な国のあいさつを体験的に行ったり、講師と生徒間のやり取りがあったりして、楽しい講演会でした。小貫先生の話聞き、生徒は国際協力の醍醐味を理解しました。



講演の様子



生徒にステージにあがってもらいブラジルの挨拶を実演



講演会後に、舞台上で手伝ってくれた生徒と